

医薬品開発サポート業の現状

金 田 平 八 郎

(株)ラビトン研究所・(株)大阪医薬品臨床開発研究所

- ① 岡山実験動物研究会・会員として
 - a 会員・賛助会員にして頂いた事
 - b 会員・賛助会員として思う事
- ② 日本実験動物協同組合・組合員として
 - a 組合の成り立ち
 - b 基本定款の一部
 - c 会員名簿
 - d 日本実験動物協会 定款の一部
- ③ 安研協・会員として
 - a 安研協の成り立ち
 - b 基本定款の一部
 - c 会員名簿
- ④ 臨床試験受託機関協議会・会員として
 - A. a 臨試協の成り立ち
 - b 基本定款の一部
 - c 会員名簿
 - B. a CRO 協会の成り立ち
 - b 基本定款の一部
 - c 会員名簿
 - C. SMO 協会は未発足
 - a 臨試協：Phase I・探索試験サポート業
- ⑤ GLP.GCP.ICH と医薬品開発サポート業の推移
 - a GLP について
 - b GCP について
 - c ICH について
 - d a～c による医薬品開発サポート業の推移
- ⑥ RABITON Research System for Future Drug Development (43 頁参照)
- ⑦ ゲノム創薬時代の開発研究過程における課題
The 13th RABITON Meeting Forum
- ⑧ 学者・研究者・技術者の課題と経済人
 - A. a 学者
 - b 研究者
 - c 技術者
 - B. a 商売人
 - b 事業家
 - c 経営者
- ⑨ 人類社会に対する貢献への道
 - a 奉仕（サービス）と服務
 - b ロータリークラブ（社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕）
 - c 人類社会に対する服務
 - d 人間の服務（The motto of RABITON）
 - ア 信じあってこそ、人間
 - イ 認めあってこそ、人権
 - ウ 勤めあってこそ、人務
 - エ 譲りあってこそ、人道
 - オ 誇りあってこそ、人生
 - e ヒトの服務（ヒトとその他動物）
- ⑩ 岡山実験動物研究会および会員に期待すること
 - a 実験動物・モデル動物の開発
 - b 医薬品の開発
 - c 学・民の協力と官のバックアップ

平成 12 年 7 月 8 日(土)岡山大学文学部会議室で開催された第 39 回岡山実験動物研究会（主催者：文学部三谷恵一教授、岡山県産業財団後援）での特別講演の要旨で、講演された金田平八郎氏は(株)ラビトン研究所・大阪医薬品臨床開発研究所の代表取締役を務められ、本研究会の賛助会員及び会員になられている。なお、講演に基づく会社の広告（紹介）が本会誌 41～43 頁に掲載されているので、ご参照下さい。